

赤外リモコンの届かないところに便利！

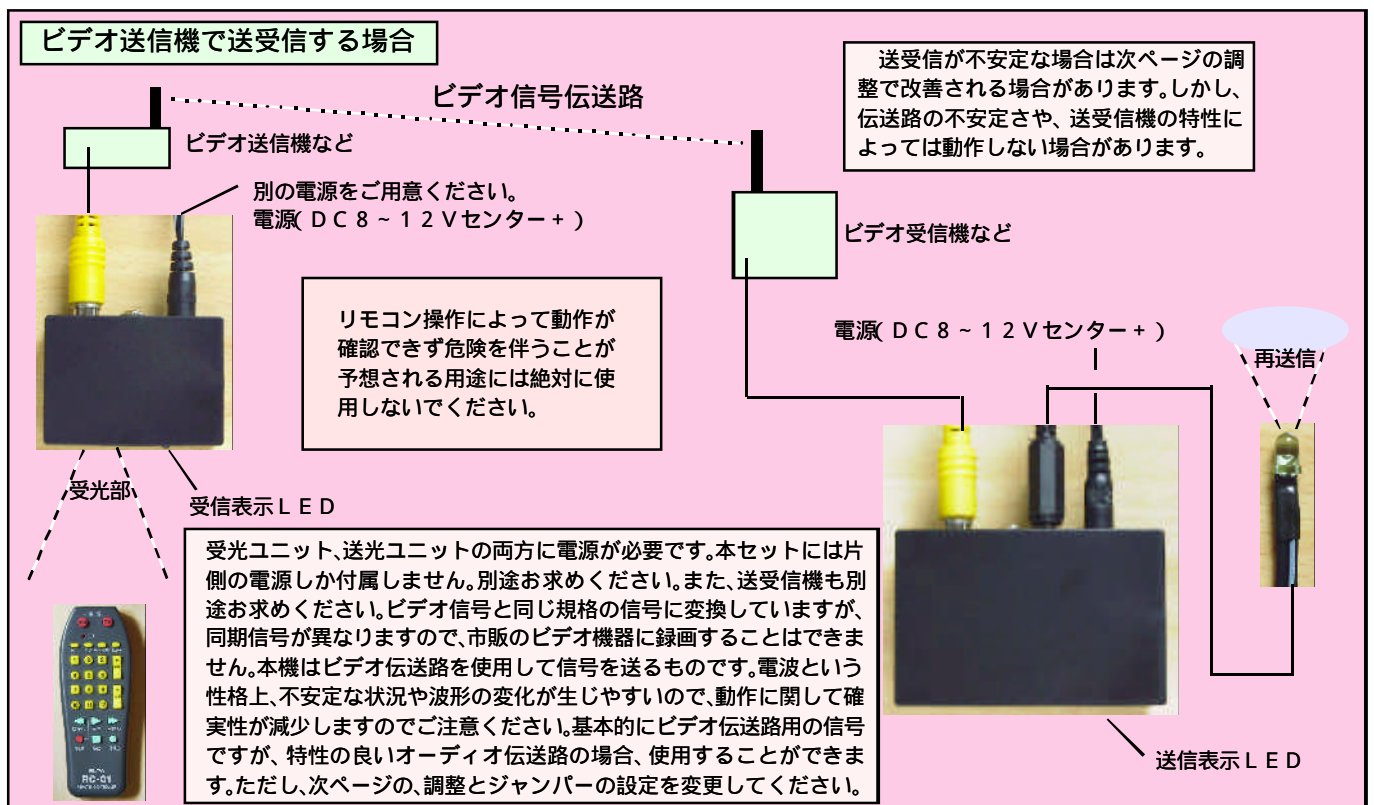
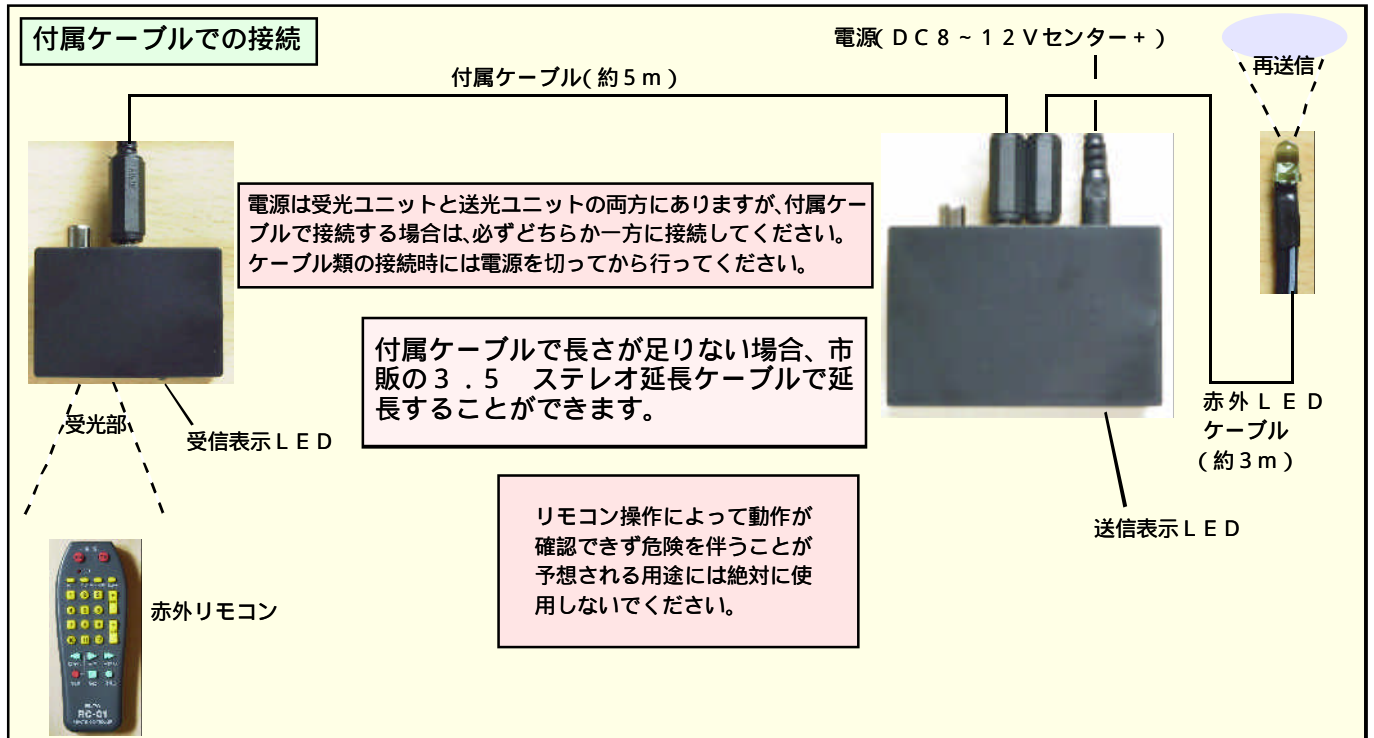
赤外リモコン中継機 ケース入完成ユニット

【概要】

赤外リモコンの届かない機器などに赤外リモコンを中継します。ホームシアターや機器ラックを後ろ側に置いている場合や別売ビデオ送受信機を用いて離れた場所に赤外リモコン信号を送ることができます。CSチューナーや各種リモコン機器に便利に使えます。

【外部接続、使用法】

電源には付属の電源かセンター+のDC 8 ~ 12 Vをご使用ください。接続は下記図を参照ください。



【ビデオ送信機などで送受信する場合の調整】

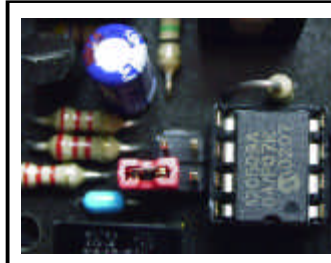
この調整は付属の専用ケーブルで使用する場合、調整の必要はありません。また、ジャンパーも変更の必要はありません。



送光ユニットの中の半固定抵抗を少しずつ右または左に回して調整してください。図の位置でほぼ合っていますのでほんの少しだけ上下して安定に送光できるよう調整してください。このとき右に回しすぎると赤外リモコンの信号を受けていなくても、送信表示LEDがついたままになりますので右に回しすぎないように注意してください。

付属のケーブルで接続する場合は調整も変更も必要ありません

下図で上側のジャンパーは予備ですので使用していません。



ビデオ伝送路を使用する場合の設定。(初期設定状態)出力ピンジャックにビデオ伝送路で伝送しやすい信号を出力します。

図のように片側のピンに差し込む



オーディオ伝送路を使用する場合の設定。出力ピンジャックにオーディオ伝送路で伝送しやすい信号を出力します。

図のように両側のピンに差し込む

【注意事項】

動作が確認できず危険が伴うことが予想される用途には絶対に使用しないでください。また、伝送路の不安定さなどで動作や誤動作が生じることがあることを予めご了解いただき、そのようなときに対応できるようにしてご使用ください。

送受信機などで送受信したり、専用ケーブルで接続した場合でも、信号のわずかな変化で動作しなかったり動作が不安定になることが考えられます。また、赤外リモコンが40KHzの信号を用いている場合、送受信距離が極端に短くなる場合があります。

38KHzのリモコン機器に対応しています。リモコン信号の規格、長さには制限はありませんがすべてのリモコン機器で動作を保証するものではありません。

本体は雨や水のかからないよう設置してください。また、受光部に直射日光が当たると感度が低下することがあります。

内部基板金属部がショートするとほんの一瞬であっても永久破壊することがあります。

正しい使い方でない場合、十分な動作が期待できない場合があります。動作をよく理解した上、正しくご使用ください。

本装置を用いて生じるあらゆる不利益も当方ではいっさい保証できませんので予めご了承ください。

赤外受信再送信共通仕様

電源 2.1 DCジャック センター+ 8~12V

有線接続の場合は片側のBOXにのみ電源が必要です。セットには有線接続用の片側の電源のみ付属します。無線接続の場合は片側の電源をご用意ください。

消費電流 100mA以下

受光BOX入出力

赤外リモコン信号入力(38KHz用)

赤外再送信BOX用信号

ビデオ信号規格に変換した赤外リモコン信号出力(ビデオ同期信号は含みません)

再送信BOX入出力

赤外リモコン信号出力(38KHz用)

赤外再送信BOX用信号

ビデオ信号規格に変換した赤外リモコン信号入力

受光BOX寸法 40×55×20(突起部含まず)

再送信BOX寸法 50×75×30(突起部含まず)

受信再送信距離 各最大7m(使用状況で異なります。)

受信再送信接続ケーブル 約5m

再送信赤外LEDケーブル 約3m

基板(送信受信基板各1枚)、ケーブルのセットにはケースと電源は付属しません。別にご用意ください。

無線送受信にはビデオ送受信機1セットと電源1セットが必要です。

ビデオ機器にビデオ信号としてリモコン信号を記録することはできません。

(有) アール・アイ・エフ

〒648-0096

和歌山県橋本市御幸辻766-16

TEL 0736-33-0410

FAX 0736-33-0430

<http://www.rif-jp.com/>